

群馬大学工業会・東海連合支部

第21回絵画鑑賞会

日時：2023年5月30日（火）15:00-16:00

場所：パラミタミュージアム、三重県菟野町

参加者：阿部桂三（修S46S）、松永恒男（S47C）、清水堪蔵（S49C）の3名

棟方志功展一（2023年4月1日～2023年6月4日開催）

高校生の頃だったか、極度の近眼と片目失明の棟方画伯が顔を近づけて版画を掘る姿をテレビで見たのが印象に残っていた。青森県出身で「わたぼゴッホになる」と言って、油絵を目指して、その後版画に転向して、版画会のゴッホになった人の作品が見られた。富山県に疎開中に浄土真宗にふれ、仏を題材にした作品が有名。14枚の版画を使った大作「華狩頒」の前で、参加者3人の写真が撮れた。

沢山の作品の中で、数点は写真が撮れた。写真が撮れたもう一点は、「二菩薩釈迦十代弟子」である。



「華狩頒」の前で。

左から松永さん、清水、阿部さん



「二菩薩釈迦十代弟子」

絵画鑑賞会の後は、近くのレストラン「茶々」にて3人で軽くビールを飲んだ後、阿部さんと清水は四日市駅近くの海鮮居酒屋に場所を移して、支部の問題点等について話し合った。二人で人数は少ないが、少ない分だけ中身の濃い懇親会となった。

来月の予定：7月2日（日）16:00～ 「マリーローランサン展」名古屋市美術館

（文責：清水堪蔵 世話役）